はばたき

第７３号　進路新聞

令和７年９月５日
福井東特別支援学校

卒業生を囲んで（病肢高等部　6／13）

卒業生２名を招き、『仕事』『学校時代』『家庭生活』をテーマに話を伺いました。生徒たちはたくさんの刺激を受け、将来に向けてこれからのことを前向きに考えていました。

「たくさん経験をして、どんどん失敗して良い。」
「失敗から課題が見えてくるから、チャレンジを！」
「毎日登校して、人とかかわったり勉強したりするとよい。」

病肢高生徒

「生活リズムを整える」　「人と関わることを意識する」
「スケジュール管理や、タスクの優先順位など、できるところからやってみる」
「困ったことを話せる相手を決めて、相談するスキルを身に付けたい」
「仕事の選択肢を増やすためにいろいろな事業所にいってみる」

先輩方

春の現場実習（病肢高等部　6／25～7／4）

《１年生》校内や外部から委託された作業として、封筒に入れる資料折り、ファイルへのシール貼りやひも通しなどに取り組みました。

《２年生》　１年生の実習よりも時間を延ばしたり、職員さんとのかかわりを増やしたりなど、ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟを目指しました。

《３年生》　職場環境や仕事内容、働く時間、通勤方法など、自分に適しているかを確かめながらの実習になりました。

★2，３年生実習先★　夢つづきの家、FLAP、山崎金属ベア、ANELLA　CAFE、いろは

進路学習会（8／20）

第1部：卒業後に利用できる福祉サービスって？

卒業後に活用できる福祉サービスの種類や内容について、問題や困り感を軽減するためにサービスをどう利用すべきか等について話がありました。卒業後の日中活動（就労継続支援Ａ型・Ｂ型、就労移行支援、自立訓練、生活介護）だけでなく、生活の場（グループホーム）や余暇活動（居宅介護等）での支援についてもそれぞれの特色を交えながら具体的に教えていただきました。「親が元気なうちはこのままでいい」ではなく、今のうちから福祉サービスを少しずつ利用し、支援をつなげていくことが大切ですね。

第2部：将来に向けて学校で／家庭で取り組むべきこととは？

本人と教員に向けて学校生活で大切なことや、保護者の心構えについて話がありました。卒業後の困り感をなくすために、コミュニケーション面では、孤立をしないことや相談できること。また、信頼される人になるために、ルールを守ること。継続ができる人になるために、マナーを守ること等教えていただきました。その中で、自分で何でもできるようになるより、みんなに助けてもらえるような人になる方が生きやすい。そのために、嫌なことがあったときに流したり許したりできることや、自分の意見を押し付けないでいられる抑制力が大切だという話が印象に残りました。

第 3,4 部：就労選択支援って？

就労アセスメントの現状と課題から、就労選択支援創設の経緯、就労選択支援の内容や方向性、活用するタイミングや期間等について説明がありました。本人が自分の働き方について考えることをサポートするとともに、本人の希望も重視しながら幅広く就労選択の機会を適切に提供することを目的にしています。詳しくは、裏面の「就労選択支援」とは！？もご覧ください。

事業所さんへ いってきました！（事業所見学会）

からだリビング（医療的ケア対応型グループホーム）（福井市和田）

福祉と医療が連携する新しいグループホームです。「その人らしく当たり前の暮らしを」を大切に、「医療的ケア（胃ろうや喀痰吸引など）が必要な方、座位での入浴が必要な方（機械浴完備）、生活全般のサポートが必要な方など、多様なニーズに寄り添い、安心できる生活環境を提供しています。居室は13部屋あり、ショートステイは1部屋です。同施設で、就労継続支援B型の利用も可能です。ゆったり自分のペースで「本人がやれること」を大切にした軽作業やレクレーションなどを行っています。

KiPPo（就労継続支援B型）（福井市江守中）

ミシンで小物を作ったり天然石でアクセサリーを作ったりして、メルカリやインスタで販売しています。また、壁紙の指示図を作る仕事を外注でもらい、パソコンで作成しています。個々の興味に合わせたお仕事ができる事業所です。

おーるわんメディぷらす（医療的ケア対応型障がい者グループホーム）（福井市江端町）

訪問看護ステーションが併設している重度の方向けのグループホームで、看護体制も手厚いです。新築で、中庭もありとても綺麗な施設です。入浴は、身体に不自由がある入居者も利用可能なストレッチャー式ミストシャワー入浴装置を導入しています。
居室は全部で20部屋あり、ショートステイの部屋は各階に1部屋です。2階の共用スペースには、保護犬、保護猫がいて利用者の癒しになっています。

前進主義 AOSSA（就労継続支援B型）（福井市手寄）

福井駅から徒歩1分のアオッサ内にあり、きれいで利用しやすい環境です。主な仕事内容は、データ入力、動画編集、デザインなどです。
在宅での就労を希望する場合などに、テレワークも行っています。Teamsというグループウエアを使って、社内と業務連絡をとっています。

リハビリデイサービスわかすぎ（共生型生活介護）（福井市若杉）

共生型サービスとは、2018年の介護保険制度改正から始まった新しいサービスです。一つの事業所において高齢者と障害者がサービスを受けることのできる仕組みとなっています。わかすぎでは、基準該当放課後デイサービスも併設しているので、障がい児から障がい者・高齢者の方が同じ施設内、同じフロアで過ごしています。
生活介護では、入浴・排せつ・食事等の介護や、機能訓練、創作的活動の機会の提供などを行っています。

ワークハウス（就労継続支援A型）・ワークハウスらしく（就労継続支援B型）・ワークハウスらしく＋（プラス）（就労継続支援B型）（福井市松本）

和菓子作りや農業から袋詰めまで、さまざまな仕事を提供します。らしく＋は、ワークハウス(A型)とらしく(B型)の中間の環境で、工賃も高めです。支援体制も整っています。

「就労選択支援」とは！？　令和7年10月～スタート

就労選択支援とは、本人が主体的に“就労選択”ができるよう“支援”する福祉サービスのことです。
卒業後に就労継続支援B型事業所（R9.4月からはA型も）を使うための通行手形としてではなく、十分なアセスメント（働くための適性や必要な支援を見つけるための面談・評価）と多機関連携によるケース会議を行うので、「どんな進路があるのか」「自分は何が向いているのか」「将来に向けて、在学中に何をすると良いのか」を本人と一緒に本人理解を深め、支援者からは幅広い選択肢（就労系福祉サービスの利用から一般就労まで）の情報提供をうけて、自分の進路を考えていく場にできそうです。本校でも、生徒や保護者、福祉関係者、学校など関係者で話し合い、現場実習期間などをつかって、このサービスの利用を進めていく予定をしています。